

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2023年1月24日

株式会社JMC

## 株式会社JMC、産業用CTスキャンのサービス領域を拡充 ～1m超えの大型CTスキャンに対応～

非破壊検査やリバースエンジニアリングを目的とした産業用CTによるスキャンサービスを展開する株式会社 JMC（神奈川県横浜市 代表取締役社長兼 CEO：渡邊大知）は、新たに 1m を超える大型ワークのCTスキャンに対応可能となり、自動車の足回りや燃料系、航空機のエンジン回りを始めとする大型部品の受託検査・測定を開始いたしました。

JMC は、これまででもナノフォーカス、マイクロフォーカス、ミリフォーカス、さらに X 線管電圧 450kV 超えの高出力 CT をラインナップとして揃え、産業用 CT の全てのエネルギー領域をカバーする体制でサービスを提供してきました。ただしスキャン可能なワークサイズは最大 1m と制限があり、それを超える測定サンプルは分割するなどしてワークサイズ内に収める必要がありました。

この度のサービス領域の拡充によって、これまで分割を余儀なくされていた事例も、一体での測定が可能になり、自動車や航空機分野に多い大型部品の測定ニーズに対する対応力が強化されます。

本サービスで自動車のシートをスキャンした実績は、1月25日より東京ビッグサイトで開催される「自動車部品&加工 EXPO（オートモーティブワールド内）」の JMC ブースでも紹介予定です。

JMC は今後も、産業用 CT における国内最高水準のサービス体制を追求し、お客様のあらゆる課題を解決するソリューションを提供してまいります。



JMC が対応可能な産業用 CT の領域

## 【大型 CT 設備スペック】

最大管電圧：450kV

最大スキャン範囲： $\phi 3,400 \times 3,400\text{mm}$

最大サンプル重量：2t

## 【産業用 CT スキャン サービスサイト】

<https://www.jmc-ct.jp/>



## 当社概要

1999年、光造形方式の3Dプリンターを導入して製造業に参入。3Dプリンター出力による部品製造の事業規模が拡大する中、2006年に有限会社エス・ケー・イーを吸収合併し、砂型鑄造法による鑄造事業をスタート。3Dプリンターで培ったデジタル技術を背景に、職人の肌感で語られることが多かった鑄造を定量化することで、経験年数に依存せずに質の高い鑄造ができることを証明。業界に新たな進化を起こした。2015年には産業用CTによる非破壊検査・測定を目的としたCT事業を開始。さらに、心臓カテーテルシミュレーター『HEARTROID』の販売でメディカル分野にも領域を拡げた。2016年東京証券取引所マザーズに上場（2022年の東京証券取引所の市場区分見直しに際して「グローバル市場」を選択）。2021年からは、保有する技術力を生かして旧車のレストアパーツ製造・販売を開始した。

所在地：神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-5 住友不動産新横浜ビル 1F

代表者：代表取締役社長兼 CEO 渡邊大知

設立：1992年12月18日

資本金：786,279千円

売上高：2,416百万円（2021年12月期）

従業員数：153名（2022年6月末）

事業内容：産業3Dプリンターおよび砂型鑄造による試作品、各種部品・商品の製造、販売

産業用CTの販売および検査・測定サービス

医療機器等の製造・製造販売

URL：<https://www.jmc-rp.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ

株式会社JMC 広報担当

電話：045-477-5751 / メールアドレス：pr@jmc-rp.co.jp